

平成30年度 学校評価計画

小美玉市立玉里小学校 校長 中山 恵弘

1 学校教育目標

自ら学び、豊かな心と健康な身体をもち、たくましく生きる児童の育成

2 目指す学校像、児童・生徒像、教師像

学校像	○ 笑顔あふれる学校 ○ 活力のある学校 ○ 応援される学校
児童・生徒像	○ 自分から進んで学ぶ子 ○ ありがとうがもらえる子 ○ 健康で体力のある子
教師像	○ 子どもを愛し一人一人を大切にせる教師 ○ 研鑽に励み指導力を向上させる教師 ○ 保護者や地域に尊敬され信頼される教師

3 学校の現状

- 児童数196名、普通学級7（2年のみ2学級）、特別支援学級3（知的1自情2）。不登校者数0。各学年とも発達障害の疑われる児童が多く、学校における規範の徹底が難しい。
- 保護者に対して、我慢ができない児童、感情をコントロールできず言葉や行動が攻撃的な児童が目立つ現状や教職員による日常の指導についての理解と協力をお願いしている。（フリー参観）
- 児童の体力向上に向け、授業の充実を図るとともに、「朝の運動（トレーニング）」業間、昼休みの運動を継続実施している。
- 地域2団体との連携による「読み聞かせ」をはじめ、地域の教育力やボランティアを学校行事や授業に積極的に活用している。

4 前年度の成果と課題

- 学校支援ボランティアとして多くの保護者にご協力いただいた。昨年度よりも学校支援の輪が広がっている。体験活動や地域の方とのふれあいを通して、児童が地域のよさや温かさを実感できるよう、地域と協力して支援していく。
- 玉里地区小小連携の合同遠足や小小・小中連携の避難訓練、コンプライアンス研修会などを実施した。統合に向けて連携を深めていく素地ができつつある。さらに、幼保小連携を進める。
- アクティブラーニング導入に向けて外部講師を招聘し学習形態や授業展開の工夫改善を行った。今後は、ユニバーサルデザインを意識しながら学習課題やその提示の仕方を工夫したい。そして、児童の学習に向かう気持ちを高めていき、学力向上につなげていきたい。
- 基礎・基本の定着に向けて、月例テストの実施により全学年概ね目標値を達成した。学習のきまりや家庭学習の定着については継続して指導を行い、自ら学ぶ児童の育成に取り組んでいく。
- 児童や保護者対象のアンケートでは、生活のきまりを守って集団生活を送ることができているという回答が多い。その反面、生活のきまりを守ることが難しい児童が多いことから、学級集団の規範の維持が困難な場合がある。専門家（SSW・SC）や専門機関等との連携により、問題を抱える児童やその保護者へ適切な支援・指導を進めているところだが、保護者の現状認識や障害への理解不足をどう変えていき改善に近づけていくかが課題となっている。
- 学校開放により、多くの保護者に児童や授業の様子を参観していただいた。参観後の感想やご意見をいただき、生の声を集めるよう努めている。学校の取り組みや現状に対して理解と協力を呼びかけている。

5 組織目標

番号	内 容	実施期間			
		30			
1	聴く態度を育成し、協力し学び合う児童を育てる	○			

平成30年度 学校自己評価書

小美玉市立玉里小学校 校長 中山 恵弘

1 今年度の取り組みの概要

- 全職員が一丸となって、児童一人一人が自己有用感、自己肯定感、自己存在感をもてる学校を目指して、児童理解に努め、心の居場所づくりを進めるとともに、学力向上といじめ防止（早期発見・早期解決）を図る。
 - ・「学び合い」を取り入れた授業づくり
 - ・特別活動の充実（児童主体の学校行事）
 - ・異年齢集団活動の充実（たてわり班活動の活性化）
 - ・幼稚園、保育園との交流の充実（行事の相互参加、保育実習、情報交換）
 - ・助け合い、協働できる教職員集団（支援会議、ケース会議、プロジェクト会議）
 - ・どんな小さいことでもほめる。
- 安心できれいな学校づくり
 - ・安心・安全な学校（学校内における全職員での児童の見守り、登下校の安全確保）
 - ・自分から先にあいさつ（大きな声で、元気に）
- 服務規律の徹底と働き方改革の推進

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1			
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
「学び合い」を取り入れた授業づくりを通して、児童相互の人間関係づくりと確かな学力の定着を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかりやすい 90%以上 ・学習のきまりを守る 90%以上 ・自分の考えを伝える 90%以上 ・進んで読書する 80%以上 ・学力診断テスト 昨年度以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 ・「学び合い」を取り入れた授業研究を実施する。 ・インクルーシブやユニバーサルデザインを意識したわかりやすい授業の実践 ・「学習のきまり」を根気強く指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「茨城学びの会」から講師を招聘し3回の授業研究会を実施した。全職員が研究授業を公開し、主体的に研修に取り組むことができた。児童の発達段階や学習課題に応じた学習形態（ペア・グループ、コの字等）を工夫することで学習意欲や理解の向上を図ってきた。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかりやすい 児童 93%、保護者 95% ・自分の考えを伝える 児童 92% ・学力診断テスト(H29比) 4年 指数比 +3.8 5年 +7.5 6年 +1.1 ○特別支援教育専門家派遣事業や水戸教育事務所から講師を招聘し、特別支援教育について研修を深めた。 ○「学習のきまり」について根気強く指導を続けた結果朝の読書から授業への流れがスムーズになり、問題行動が目立っていた児童も比較的落ち着いて学習に取り組めるようになった。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習のきまりを守る 児童 95%、保護者 92% 	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、支援会議を実施し情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書する 児童 97%，保護者 65% *学校でしか読書しない児童が多いと思われる。 ○支援会議において全職員で共有し、支援に生かすように努めてきた。 	
<p>豊かな心で生活をよりよくするため、自主的に活動できる児童を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめがない 90%以上 ・学校が楽しい90%以上 ・進んであいさつができる 90%以上 ・生活目標を自覚して生活 80%以上 ・掃除、係活動での協働 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期教育相談期間を設定 ・定期的に「いじめに関するアンケート」実施 ・「生活のきまり」を根気強く指導する。 ・あいさつで気持ちよく生活できるよう支援する。 ・決められた時間内いっぱい使って黙々と掃除できるよう支援する。 ・学校行事等で児童が活躍する場面を多く設定する。また、たてわり班活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎学期、1ヶ月にわたって教育相談期間を設け、個別に児童とじっくり話をすることができた。その際に、いじめに関するアンケートを活用することができた。 ・いじめがない 児童 97%，保護者 92% ○毎週設定する生活目標を意識して生活できるように、児童へ根気強く働きかけた。 ・生活目標を自覚して生活 児童 93%，保護者 91% ○気持ちよく一日がスタートできるように、立哨等で教職員が率先してきた。また「玉里小あいさつ名人」を校内外に掲示して意識化を図ってきた。 ・進んであいさつができる 児童 97%，保護者 81% *児童はあいさつや返事をしているつもりでも、相手に伝わってなかったり、できたりできなかったりと習慣化していないのが現状である。 ○清掃は師弟同行とし、全職員で指導にあたった。また学級において、一人一役で係活動に取り組めるよう、毎月個人の振り返りをするなど支援に努めた。 ・掃除、係活動での協働 児童 96%，保護者 96% ○運動会や交通安全教室、音楽会、児童集会、登校班編制会議、たてわり班活動、さつまいも移植、さつまいも掘り、マラソン大会、縄跳び大会など、様々な行事において、計画委員会を中心に実行委員会を組織し、児童が主役となって活躍できるよう支援してきた。 ・学校が楽しい 	A

	<ul style="list-style-type: none"> ・諸活動において「振り返り」を必ず実施する。 	<p>児童 97%, 保護者 94%</p> <p>○諸活動において, 「計画立案→全体目標→個人目標→練習・準備→実施→振り返り→共有」というR P D C Aサイクルを教職員だけでなく児童にも意識させるように努めてきた。日を追うごとに取り組む姿勢が改善された。</p>	
<p>健康で安全な生活を心掛け, 自ら進んで体力を高めることができる児童を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ご飯) ・歯科受診率 60%以上 ・インターネット ・自ら進んで運動 90%以上 ・休み時間元気に遊ぶ 90%以上 ・体力テスト A+B=70% ・児童の健康・安全に配慮 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の充実 ・保健指導の充実 ・年間を通して虫歯治療の呼びかけを行う。 ・食物アレルギーへの適切な対応と情報共有 ・SNSやゲームなどインターネットの利用についての指導の充実 ・年間を通じた体力づくりの推奨 ・学級活動の一環としての外遊び支援 ・安全点検と巡視による危険箇所等の把握と教育委員会と連携した対応 	<p>○毎月給食時に食に関する指導を工夫して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝ごはん 98% <p>○全校児童に歯科保健指導を実施するとともに, はみがき強化週間を年2回実施した。保護者への歯科受診勧告を3回実施した。</p> <p>▲歯科治療率 50%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎食後に歯磨き 95% <p>○食物アレルギーによるアナフィラキシーショックが懸念される児童のために, 保護者と連携をとりながら職員間の情報共有を図り適切な対応に努めた。また, 全職員によるエピペン研修や食物アレルギー事故の発生を想定した訓練を実施した。</p> <p>○9月に全学級でメディア使用に関する保健指導を実施し, 10月から毎月10日をノーメディアデーとして, 家庭におけるルールを話し合い, 家族で取り組むようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童 86%, 保護者 96% <p>○・自ら進んで運動 96%</p> <p>▲・体力テスト A+B=66.8%</p> <p>○・元気に外遊び 95%</p>	B
<p>開かれた学校として, 保護者や地域と協力して, 地域に愛される児童の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供に努めている 90%以上 ・PTAとの連携 90%以上 ・相談や要望に対応 90%以上 ・活発な地域との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全な成長を目的とした保護者との情報共有 ・学校の活動について, 「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の紙媒体, ホームページやEメールによる情報発信, 地区回覧による情報発信に努める。 ・スクールカウンセラーの活 	<p>○児童の学校での様子は心配な点について事実を伝えるとともによくなった点も伝えるように心掛けている。</p> <p>○様々な媒体による情報発信に努めた。</p> <p>○全家庭にスクールカウンセ</p>	A

<p>・外部機関との連携</p>	<p>用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリー参観，保護者面談の実施 ・玉里地区コミュニティ行事への参加 ・少年消防クラブの活動 ・地域との連携による児童の見守り ・幼稚園，保育園，中学校，他小学校との連携 ・水戸教育事務所，市教育委員会，警察署，児童相談所，特別支援学校，社会福祉協議会，JA新ひたち野，教育事務所等との連携 	<p>ラーの予定を告知し活用を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲フリー参観は度々呼びかけたが，昨年度より来校者数が激減してしまった。 ○地域の皆様に6年生のよきこいソーランや合唱団の発表を披露することができた。 ○社会福祉協議会のお骨折りにより玉里小学区見守り隊が結成され，日々の見守りに尽力いただいている。そんな方々へ児童の感謝の気持ちをお伝えする機会をもつことができた。 ○学区内地区長さんのお骨折りで，「こども110番の家」をリニューアルし，31件登録できた。また，全校児童と家庭にそれを確認していただくことができた。 ○本校の学校行事や保育体験，学習発表会参観などで学区内の幼稚園や保育園との交流や情報交換を実施できた。 ○様々な活動や児童の連絡相談において，関係機関と連携をとることができた。 	
------------------	--	---	--

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 「学び合い」を核とした授業改善に取り組んできた。①学習課題の工夫，②学習形態の工夫，③支援の方法，④指示の工夫について，講師を招聘して全職員で研鑽を積んできた。また，配慮を要する児童に対応するために，水戸教育事務所や茨城大学からも講師を招聘し，授業の質の向上だけでなく，ユニバーサルデザインの見地に立った授業展開や教材準備の必要性について研修をすることができた。
- ▲ 授業改善により，「授業が楽しい」という児童は，81% (H29)→96% (H30)となっているが，4教科総合では県平均まであとわずかであるが届かなかった。主体的な学習態度の育成を目指し，授業改善とともに，各学年共通で，家庭においても児童自らが課題を見つけ取り組んでいけるような支援について準備を進めていく。
- 全職員で児童の見守りや情報共有を心掛けるとともに，児童への言葉掛けについても，わかりやすく前向きな言葉掛けとなるよう努力をしてきた。根気強く指導を続けてきた結果，各学年とも「生活のきまり」や「生活目標」を守ろうという意識が育ってきた。
児童 84% (H29)→93% (H30)，保護者 89% (H29)→91% (H30)
- 運動会や交通安全教室，音楽会，児童集会，登校班編制会議，たてわり班活動，さつまいも移植，さつまいも掘り，マラソン大会，縄跳び大会など，様々な行事において，計画委員会を中心に実行委員会を組織し，児童が主役となって活躍できるよう支援してきた。学校での諸活動は，自分たちによる，自分たちのための活動という意識が高まり，全校集会をはじめとする集会活動全般にわたって態度が劇的に改善した。
- さつまいも掘りや校内音楽会などの行事や保育体験，学習発表会参観などで学区内の幼稚園や保育園との交流や情報交換を実施できた。

- 教職員の勤務時間適正化のために、現時点で実現可能な改善を実施した結果、個人の時間外勤務時間が減少した。
- ▲ 学区内の幼稚園や保育園に対して研究授業公開の案内をしたが、日時の問題があり担任レベルの相互授業参観は実現しなかった。実現のためには、小学校側が日程変更等の対応をとる必要がある。また、保育体験は、統合を見据えて、学区内小学校にも呼びかけて日程の調整をするなど改善をしていきたい。
- ▲ 今年度は県内において教職員の不祥事が多発した。今後、益々当事者意識をもったコンプライアンス研修が求められる。また、来年度は働き方改革を本格化させなければならない。業務内容や学校行事の見直しを図り、実効性の高い改革を進める必要がある。

3 保護者や地域への皆様へ

- 地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。特に、玉里小学区見守り隊の皆様による登下校の見守りやお声掛け、「ひこうせん」や「てるてる」の皆様による毎週の読み聞かせ、図書ボランティアの皆様、各学年の校外学習において引率いただいた皆様等々、たくさんの方々に玉里の子供たちのためにご尽力いただきました。これらの活動や玉里小学区コミュニティの行事へ参加することを通して、児童は、地域とのつながりを実感し、郷土を愛する心が育まれています。地域の皆様に、お褒めの言葉や励ましの言葉をいただいたことで、自分が成長しているという自信につながっているようです。私たち教職員は、子供たちが将来の夢を描き、その実現のために自分を高めていけるような力を身につけられるよう、①確かな学力、②豊かな心、③健やかな体の育成を目指し、教職員一丸となって児童の支援に尽力して参ります。今後とも、温かいご支援とご協力をお願いいたします。
- 31年度は、外国語活動の教科化など教育課程が大きく変わります。小学校では授業時間や教育内容の増加で児童の負担が年々増大しております。環境や安全面などでも子供たちを取り巻く状況も厳しくなっております。また、私たち教職員も厳しい勤務状況が常態化しており社会問題となっております。現在、本校では、よりよい教育のために、児童にも教職員にもよい環境を作れるよう学校行事の見直し等の改革を進めております。過渡期では様々な問題が予想されますが、「すべては子供たちのために」という共通の願いをもって、学校と地域と保護者で知恵を出し合い、よりよい学校になるように努めて参りたいと存じます。今後とも、お力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。